

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.383
2023.8.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでカンパ(金)と知恵や努力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

地域ネット

清瀬ネット

生活のお困りごとご相談ください(毎月第3日曜日)
8月20日(日)14:00~16:00 清瀬・生活者ネットワーク事務所(清瀬駅) 家計相談員が対応します。介護のご相談も。秘密厳守。無料 042-494-8720

調布ネット

伝えていますか?性のこと 性教育学習会
8月25日(金)18:30~20:30 あくろすホール1(京王線国領駅) / オンライン併用 講師:安藤由紀さん(人権ファシリテーター・絵本作家)
参加費:無料 主催:調布地域協議会 042-487-3087

品川ネット

水辺の調査~区内にある河川の水質を調べてみよう~
8月27日(日)11時集合 品川区立環境学習交流施設 エコルとごし2階 地域交流室(品川区豊町2-1-30 戸越公園内) 定員:親子8組20名(事前申し込み制) 主催:品川区地域協議会 03-5751-7105

練馬ネット

9条スタンディング(毎月9日)
9月9日(土)12:00~13:00 練馬駅南口(西武池袋線、都営大江戸線) 主催:生活者ネットワーク 03-3993-4899

葛飾ネット

毎月10日はなんでも相談会
9月10日(日)10:00~12:00 葛飾・生活者ネットワーク事務所(京成高砂駅) 暮らしのお困りごと、福祉や介護、医療の聞きたいこと、おたずねください。議会のお話も。話だけでも聞いてほしい方も 03-5876-4757

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議39人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



ローカルイニシアティブミーティング第4回のパネルディスカッションで発言する、杉並区長岸本聡子さん、世田谷区長保坂展人さん、政治学者の中島岳志さん。参加者は、会場270人、オンライン340人だった。6月27日、中野区のなかのZERO小ホール

か の Z E R O 小ホール+オンライン)は、「政治は変わる!地域主権とコモンをめざして」と題して統一地方選で顕著な結果を出した杉並区と F I F T Y S P R O J E C T、そして新人女性区議に着目した構成となった。

第2部——実践報告とメッセージ:自治体発!公共(コモン)を取り戻そう
第2部は、中央集権的な新自由主義に問題ありと考える民意が地方自治体で「公共(コモン)」を取り戻そう」とする首長を選ばず流れが



東京・生活者ネットワーク元都議会議員
元杉並区議会議員
小松久子

起きていて、と中島岳志さんが口火を切り、保坂岸本両区長がそれぞれ実践を語る形で議論が進んだ。気候変動、ジェンダーなど日本が先進国の中で後れを取っている課題について、地方で先進的な取り組みが生まれていることの希望が語られた。

そこで改めて思うのは、「政策決定の場への市民の直接参加」と1977年の都議選への挑戦に始まった生活者ネットワークの運動は、一貫して「中央より地方、地域」「自治・分権」その前提となる「情報公開」を重要政策に掲げてきた46年間だったということだ。2003年筆者の初選挙のスローガンは「地域力・市民力 安心・共生のまちをつくる」であったし、2011年、東電原発稼働の可否を問う「原発投票」運動へと私たちを動かしたのには、「大事なことは市民が決める」「地域のことは地域で決める」という意志だった。そして2023年、私たちは自治の根幹であり、ターゲットである、地域発!誰もが「私らしく生きるための政治」を掲げた。

マイナ保険証により 体の内部にまで 国の管理が及ぶ

政府がマイナンバーカードと健康保険証の一体化を急がせたことから、さまざまな問題が噴出し、現状のままでは、事態はそう簡単には収まりそうにありません。なぜそんなに急ぐ必要があるのでしょうか。マイナンバー制度は、国民すべてに番号を付ける「国民総背番号制」です。国が全国民の預金など財産を掌握し、監視を強化して思想チェックや犯罪防止を行い、国民一人一人の病気や健康の管理を行うために取り組んできました。健康保険証との一体化では、その病気や健康の管理とともに、顔写真にも狙いがあります。

いま世界的に顔認証が普及しています。ビルや部屋の入退室、買い物などさまざまな分野で導入されています。マイナ保険証と顔認証との関連を見てみましょう。これは未来の病院の姿です。患者は、病院に入る際に顔認証で個人が特定され、受付を経ないまま診察室に行きます。医師はあらかじめ採取された血液を解析した情報やこれまでの診察情報に基づき、診察します。医薬品もAIが指示し、医療費はクレジットカードから引き落とされ、患者は病院を出ます。患者はとても便利だと感じます。しかし、この背後で起きていることが問題なのです。血液は個人情報の宝庫です。採取された血液や細胞などの生体試料を用い、クラウドに集積されているビッグデータからAIが解析し、病気以外にも、スポーツ選手に向いているか、未来はどうかまで予測できます。

政府がいま目指しているのが、全国民の生涯にわたる健康や病気の管理です。民間企業や自治体などと連携して、最終的には出生前後から終末期を迎えるまで生活、思想、健康などの管理を目指しています。これは「ライフコースデータ」と呼ばれ、この実現に



「マイナ保険証やめろ!マイナンバーカードを強制するな!」新宿集会・デモ、マイナ保険証の問題点を訴える参加者の医師。7月15日

最も積極的なのが日本経済団体連合会(経団連)です。個々人の遺伝子レベルでの情報収集が日々進められており、それをゲノムコホート研究といい、すでに36万6000人の病気や健康に関するゲノム情報が集積されています。それがビッグデータの役割をはたします。健康や病気の情報が遺伝子とつながると、当人だけでなく、家系全体の過去・現在・未来までも管理できます。

政府による、この国民一人一人の管理が、安保3文書で示された戦争できる国づくりと合わさると、徴兵制が復活した際に、「兵士として役立つ」と考えられる人物を遺伝子から浮かび上がらせることが可能になります。陸海空のどこに配属するか、どのような任務に適しているか、それが生まれた時から管理、育成できるようになるのです。



天笠啓祐
ジャーナリスト



Information

原発いらない金曜行動

8月18日(金) 18:30~19:45 首相官邸前(国会議事堂前駅) 発言予定: 鎌田慧、落合恵子 実行委員会 <https://nonukes0311.blog.fc2.com/>

関東大震災100年 朝鮮人虐殺を現在に問う練馬の夕べ

8月20日(日) 17:30~ 練馬区役所地下1階多目的会議室(練馬駅) 映画「隠された爪痕」/関東大震災朝鮮人虐殺と植民地戦争: 慎蒼宇(シン・チャンウ) 800円 ヘイトスピーチ許さない・練馬 090-5208-5803

関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会

8月31日(木) 18:15~ 文京シビックホール大ホール(春日駅) 特別報告、追悼のピアノ演奏 ほか 1000円 実行委員会 <https://100nen-jikkoui.blogspot.com/>

神田香織・立体講談「はだしのゲン」

9月9日(土) 13:00~ LOFT9 Shibuya (渋谷駅) 予約・3000円、当日・3300円、U23・1000円(＋ドリンク代) 予約03-5784-1239 明日も晴れ一大木晴子のページ <http://seiko-jiro.net>



日比谷公園の向かい側には、200mを超える高層ビルが複数建てられる再開発事業が進んでおり、景観だけでなく、風の通り道や日照にも大きな影響を及ぼすことになる。デッキが2本作られる計画となっており、沿道の樹木も伐採される。7月7日

多くの市民の反対を押し切って、7月からイチョウ並木のある神宮外苑の大規模開発の工事が始まり、オリンピックを名目に国立競技場の建て替えから始まり、今ある建物を壊して新たに高層ビルを建てる計画が進行中です。1000本もの樹木が伐採され、100年にわたり育まれてきた豊かな緑の環境が破壊されることに、再検討を求める市民の声や海外や文化人からも保存を求める声は増えています。東京都は民間事業者に丸投げせず、市民が愛する森を民

意に反して破壊する前に、いかに外苑の樹木の歴史と文化を保護保存するべきか、市民や専門家を巻き込んだ議論が必要です。小池知事は民間事業者が主体であるので、事業者に説明を求めていると繰り返していますが、住民説明会は約380m以内の住民・事業者に限定しています。都の環境アセス審議会でも、広い範囲で説明会を求めています。都民の暮らしにかかわる重要な問題であり、都としての責任はないのか大いに疑問を感じます。

梅雨明け間近の真夏の太陽が照りつける7月、再整備で樹木の伐採が計画されている日比谷公園の樹林を歩くときひんやりと心地よい涼しさにホッとしました。都市の緑が太陽の熱を遮り、土からの水分を含んだ冷気が天然のクーラーの役割をはたし気温上昇を抑えることが実感できます。アスファルトの多い東京でも、猛暑やゲリラ豪雨などが年々激しくなっています。樹木の保水力や雨水の浸透性を生かした「グリーンインフラ」のまちづくりを行うことで、CO₂の吸収促進やヒートアイランド減少対策、生物多様性の維持に加えて、豪雨災害への備えとしても有効です。親水性の高い植栽「レインガーデン」の公共空間への整備など、温暖化対策としても都市の緑の樹木の効果が期待されています。コンクリートを中心とするグレーインフラから緑と土、そして水を大切に

するグリーンインフラのまちづくりへのシフトが急がれます。

100年の森・都市の緑を次世代につなぐために

東京・生活者ネットワーク都議会議員

岩永やす代 [国分寺市・国立市]

神宮外苑 100年の森をまもりたい!

グリーンインフラのまちづくりを

都議会REPORT



日比谷公園内にある推定樹齢400年の「首かけイチョウ」の前で。1899年に道路拡張計画で日比谷交差点にある推定樹齢300年の大きなイチョウが伐採されることになり、日比谷公園の設計者である本多静六博士は、「自分の首をかけてでも」と移植を実行し、無事に成功させたことから名付けられた。樹木は400年以上も生きるとを証明している

入管法・難民問題を今こそ人権問題として捉えなおす



練馬・生活者ネットワーク区議会議員 やない克子

5月20日、練馬区立平成つづじ公園で第3回難民・移民フェスティバルが開催され、ボランティアとして参加しました。

難民・移民フェスは、国内に住む難民や移民を日頃からサポートしている複数の支援団体が実行委員会をつくり「隣で生きる人ともっと知り合う」をテーマに1年前に第1回目を開催。支援団体の主要メンバーの一人が練馬区民だったこともあり、平成つづじ公園が会場になった経緯があります。第3回目が開催された5月は、国会で入管法改正(改悪)の議論の真っ最中。難民問題が注目されたことで、初回の3倍以上の約3600人の来場者がありました。

難民申請をしても認定されず、在留資格がないために働くことも許されず、医療にもかかれない仮放免状態の人たちは、コロナ禍以降、さらに厳しい生活を強いられています。フェス当日、出身国の料理やお菓子、手芸品などのチャリティ販売を通じて楽しそうに来場者と交流する当事者の方々。そのお手伝いができたことを嬉しく思ったひとときでした。

国会審議中の入管改正法案は、難民審査が一部の参与員への偏りやずさんな審査、大阪入管の医師酷刑診療問題など、次々と問題が明らかになりました。

難民・移民フェスが開催された地元、練馬で「何もせずにいられない!」と、フェスのボランティアアメンパーが中心となって、あつという間にスタンディングの企画が固まりました。5月24日から入管改正法案が国会で可決するまで約20日間、連日、練馬駅周辺でスタンディングが実施され、私も都合が合う限り参加しました。法案成立後も「施行は1年後。問題点を指摘し続けることが重要」と毎月スタンディングす

ることにしました。市民運動が盛んな練馬ですが、入管法改悪反対アクションは新しい、若い世代が参加する市民活動として展開しています。入管法改正や難民問題を人権問題と考え、アクションを起す若者が出てきたことは、大きな希望です。



毎月9日、「戦争はしない、原発はいらない」のバナーを掲げる練馬・生活者ネットワーク9条スタンディングでは、反戦・脱原発だけではなく、気候危機や入管法改悪反対などもアピールしている。練馬区議の山崎まりも(左)



市民有志のよびかけで継続して取り組まれた、練馬駅前での入管法改悪反対スタンディング

編集後記/今年は、1923年9月の関東大震災から100年の年。関東大震災時、多数の朝鮮人、中国人が警察、軍隊、自警団などによって虐殺された。その事実を否定する言説が、ヘイトグループなどによって繰り返されている。このような現在を、歴史に照らして問い直そうという集いが、いくつも計画されている。9月2日の午後は、100年前に現場となった、墨田区八広の荒川河川敷での追悼式(主催:一般社団法人ほうせんか)に参加しようと思う。(上坂)